

米国ドライバーの性別人口統計の変化

Michael Sivak and Brandon Schoettle

Traffic Injury Prevention, 2012, vol. 13, p. 575-576

要約

目的：この研究は、年齢に応じた運転免許の割合を 2010 年と 1995 年のデータを比較することによって、性別の違いによる近年の傾向を調査した。

方法：分析は、連邦道路管理局による運転免許データと米国国勢調査局からのデータを使用した。

結果：主に次の二つのことが分かった。一つ目は、1995 年から 2010 年の間、60 歳以下の男性ドライバーの免許の割合が減り、一方、女性ドライバーは 50 歳以下の免許の割合が減ったことである。二つ目は、2010 年において、45 歳以下の若い男性ドライバーの免許の割合が、女性の場合と比較して多かった。一方、年齢が 45 歳より高い場合は反対の関係にあった。

結論：運転免許における観測された性別の傾向は、車両の要求量、エネルギー消費、交通安全の範囲および特徴で主な意味合いを持つでしょう。

キーワード：運転免許; 男性ドライバー; 女性ドライバー